



セット内容ですみっこの
あみぐるみマスコット
しろくま、ぺんぎん、とんかつ
3体つくれちゃう!



あむあむたまごボンボン Q&A

- Q.うまく編めない。**
A.1ページめの「毛糸をセットしましょう」をよく読んでからはじめてください。
- Q.目が閉んでしまいます。**
A.毛糸を引っ張らないように、テンションにかけてから、一定の速度でハンドルをまわし、毛糸の状態を確認しながら編んでください。編あみの場合は、ハンドルを逆まわしにしないでください。
- Q.毛糸がテンションや針の中からつまってしまいシリンダーがまわらなくなりました。**
A.セット内容の毛糸針で編み目をゆるめてはじめてください。毛糸は十分ほぐし、からまらないように注意して編んでください。
- Q.毛糸玉を編む前にほぐさないで、そのまま編んでしまいハンドルをまわしたらカチカチと音がした。**
A.毛糸がテンションに引っかかり安全装置がはたらきカチカチと音がします。
1ページめの「毛糸をほぐしましょう」を読んでから編みはじめてください。
- Q.毛糸の結び目がテンションに通らず引っかかってしまった。**
A.結び目は小さくし、余分な毛糸は切ってください。2ページめの「毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは」をよく読んでください。
- Q.付属の毛糸以外で編めますか?**
A.付属の毛糸に近い並太を使用してください。
- Q.あみぐるみ以外のものはできますか?**
A.できます。いろいろアレンジしてください。

シリンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態

- こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。
- きりかえダイヤルを早あみ(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まってもまわし続けるとき。
 - 針太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってもハンドルをまわし続けるとき。

家庭用家庭用家庭用...
毛糸(白・黄緑):アクリル100%
毛糸(茶):ポリエステル100%
表示者:株式会社タカラトミー 0570-041031

タカラトミーで「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと遊び」を第一に考えています。そのため、時に製品に不具合が生じ、改善を行ってより、お買い上げ製品によって一部製品にも多少異なるものや、パッケージが異なる場合があります。万全の注意を促すために、このように記載されています。万一、お買い上げの製品に不具合が生じた場合は、必ずご連絡ください。
タカラトミーグループお客様相談室 0570-041031

0570-041031
電話受付時間 10時~17時
月曜～金曜(土・日・祝日を除く) 0120-851111
www.takaratomy.co.jp/support/index.html

発売元:株式会社タカラトミー
〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10
©10MY
●タカラトミーの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jp

すみっこぐらし と 取り扱い説明書 & つくり方

この度は、タカラトミー「映画すみっこぐらしあむあむたまごボンボン」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。
また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

©2019日本すみっこぐらし協会映画部

イラストと写真は実際の製品と多少異なる場合があります。●写真に写っていますあみぐるみとあみぐるみマスコット以外の毛糸とフェルトと色が入る製品はセット内容に含まれておりませんのでご了承ください。

映画すみっこぐらし あむあむたまごボンボン

TAKARA TOMY

対象年齢6才以上

つくる毛糸の
種類が
並太毛糸



保護者の方とお読みください
乾電池は使用しません。
NO BATTERIES REQUIRED.

警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、機械上突っ込んでいますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

注意(ちゅうい)

- 毛糸を首にかけてぶざけたり、乱暴に扱わないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を指などに巻きつけないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンダー内のペラやフックなどに指や髪、毛や衣類などをはさまれないように注意してください。
- プラスチック製を強から振ったり、踏を踏ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

＜使用上のお留意＞ ○ご使用前に、取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないように注意してください。○はさみを扱うときは十分注意してください。○プラスチック製は可燃物ですので開封後はすぐに捨ててください。

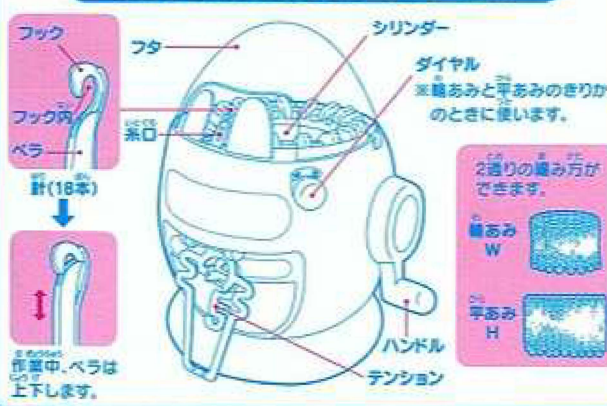
セット内容

- 本体...1個
- 毛糸ガイド...1個
- テンション...1個
- 針...1個
- 毛糸針...1本
- ボンボン糸巻き...1個
- 毛糸(茶、白、黄緑)...各1個
- フェルト(茶、白、黄、ピンク)...各1枚
- なりきりおきがえ衣類(しろくま、ぺんぎん、とんかつ)...4枚
- 取り扱い説明書(本書)...1冊

目次

- 編みはじめの準備...P1
- 編あみの編み方...P2
- 編み終わったら...P2
- 編あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方P3
- 平あみの編み方...P4
- 平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方P5
- ボンボンのつくり方...P5
- みにっこボンボンマスコットのつくり方...P6
- すみっこぐらしのあみぐるみマスコットのつくり方P7
- なりきりおきがえ衣類の編み方...P11
- ねこ・とかげのつくり方...P12
- フェルトパーツ...P14

あむあむたまごボンボンの各部の名前



フタのはずし方

フタを左(反時計回り)にまわし、もちあげてはずします。(セットするときは逆の手順で行ってください。)

テンションのつけ方

図のようにテンションの凸部を本体の穴に片方ずつさしこんでください。

編みはじめる前の準備

※セット内容の毛糸は「ずみっこぐらしのあみぐるみマスコット」をつくるためのものです。練習用は市販の毛糸で行いましょう。

輪あみ

本体を平らなテーブルなどの上におき、ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



毛糸をほぐしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやき箱などに、ほぐして入れましょう。



油性ペンで印をつけよう!

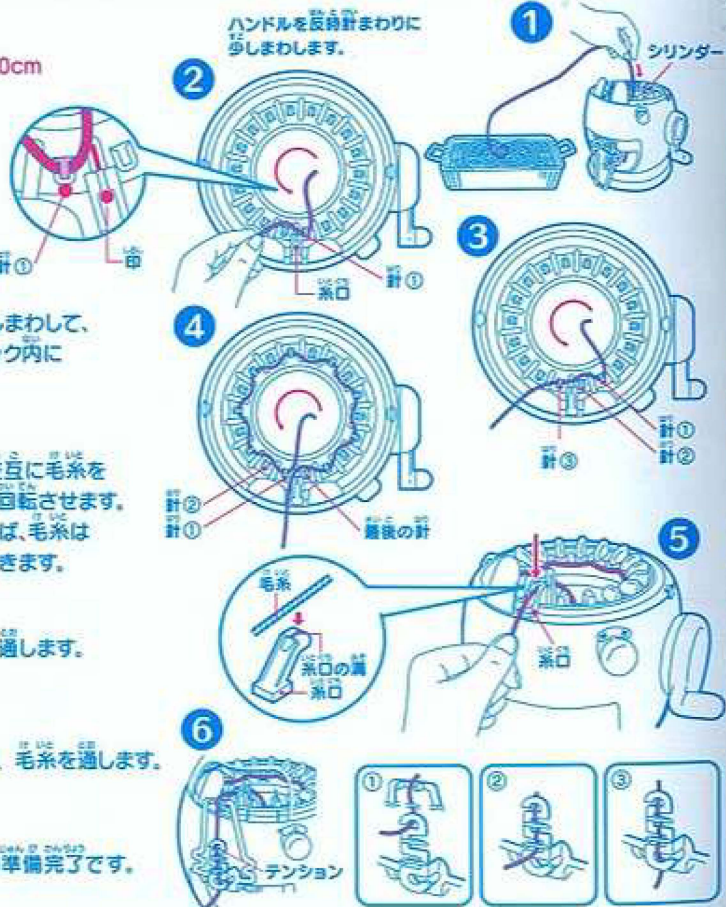
- ①ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。
- ②ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪あみ(W)に合わせます。



※選んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体からはずして編み終わりをほどこしましょう。

毛糸をセットしましょう

- ①毛糸の先を図のように、約20cmくらい中へたらしめます。
- ②針に毛糸をかけます。糸口の右側にある針①のフック内にかかけます。
- ③ハンドルを時計まわりに少しまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。
- ④このように針の前、後ろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンダーを1回転させます。正しく毛糸がかかっているか、毛糸は最後の針の後ろを通過していきます。
- ⑤糸口の溝に、上から毛糸を通します。
- ⑥テンションを上へもちあげ、毛糸を通します。
- ⑦フタをセットして、輪あみの準備完了です。



輪あみの編み方

輪あみの仕上がり

編み地の直径約6cm 長さは自由



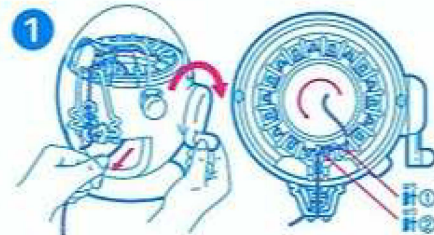
- ①ハンドルをまわして編んでいきます。輪あみのときはいつも、時計まわりにまわしてください。最初の2周は中にたらしめた毛糸を軽く引っばって、ハンドルをまわしてください。

注意: ハンドルは乱暴にまわさないでください。

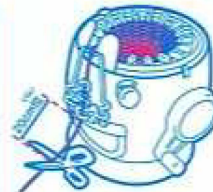
: ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてください。

: 本体を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。

: ハンドルを戻したり反時計まわりにまわさないでください。



毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは...



図のように毛糸を切り、新しい毛糸を結びつけます。毛糸を結んだら、これまで通りハンドルをまわせば続きを編めます。

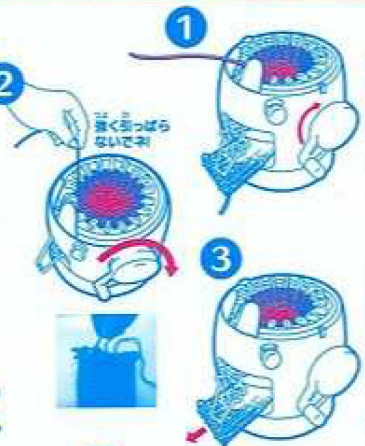
- ②編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。編み地のねじれはときどきなおしましょう。



編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っばるようにしましょう。(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っばる...など。)

編み終わったら

- ①テンション糸口から毛糸ははずします。
- ②毛糸をもって、ハンドルを時計まわりにまわし、1回転させます。
- ③編みあがった作品は、本体の下に取り出し口からそとに取り出します。編み目がほどけないように、注意しましょう。
- ④編み終わりの毛糸をちょうど1段(1周分)ほどき、約20cmを残して毛糸を切ります。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあつたら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。



輪あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

輪あみの編み終わりのしまつの仕方

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

しまつをしやすくするために…

編み終わりの毛糸を通しやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っばって、1段(1周)ほどいってください。
※毛糸をはさみで切るのは、1段ほどいた後約20cmのところで切ってください。



針に毛糸を通しやすくするために…

セット内の毛糸針に毛糸を通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。
通したらセロハンテープははずしましょう。



① 残り糸に毛糸針を通します。



② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。



③ 1周すべて毛糸針を通します。



しぼる場合

- 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っばり穴をふさぎます。
- 残った毛糸のとなり2目の編み目に毛糸針を入れます。



<残った毛糸をかくす場合>

- てっぺんから毛糸針を内側に入れます。
- 内側から通した毛糸を引っばります。
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



しぼらない場合

- 1周した後、最後の編み輪にもう一度針を通します。



- 毛糸針を引っばり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



輪あみの編みはじめのしまつの仕方

★注意：編み地に1周通す必要はありません。

しぼる場合

- 残った毛糸をゆっくりと引っばり、穴をふさぎます。
- 残った毛糸のとなり2目の編み目に毛糸針を入れます。
- 針を通して引っばり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。

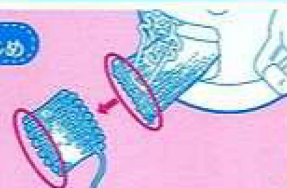


<残った毛糸をかくす場合>

- てっぺんから毛糸針を内側に入れます。
- 内側から通した毛糸を引っばります。
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



編みはじめ



しぼらない場合

- 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



- 毛糸針を引っばり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通して結びます。



平あみの編み方

平あみの仕上がり

編み地の直径約10cm 長さは自由



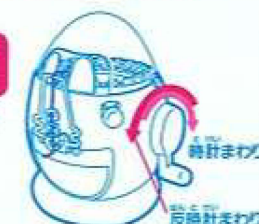
- フタをはずして、ダイヤルを平あみ(H)に合わせます。
- ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。

★注意：無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音が出ますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

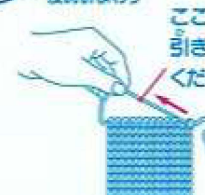
- 編む前にあき箱などにほくしておいた毛糸を、1ページ<毛糸をセットしよう>の手順を見てセットしましょう。
(今度は時計まわりにハンドルをゆっくりまわします。)
- 平あみはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを左(反時計まわり)にまわし、止まったらまた時計まわりにまわします。この作業をくり返します。
※1列目は内側にたらしした毛糸を軽く引っ張って編みましょう。

★注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

- ダイヤルを輪あみ(W)に合わせて、編み地をとりはずします。
2ページの「編み終わったら」と同じ方法ではずしてね。



この毛糸を引き抜いてください。



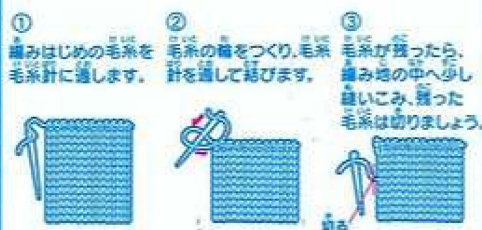
平あみの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

平あみの編み終わりのしまつの仕方

★注意：編み終わりの毛糸を強く引っ張ると、編み目がほぐれますので、気を付けましょう。



平あみの編みはじめのしまつの仕方



平あみで編んだ編み地を二つ折りにして両サイドをとじる処理法

①毛糸針に毛糸を通し、図のように目を広げながら閉じていきます。

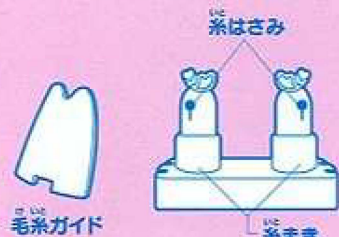


②毛糸がつかないように引っ張り閉じます。



ボンボンのつくり方

ボンボン糸巻



ボンボンの大きさがえらべます

糸まきをまわして、間隔を変えるとボンボンの大きさをえらべます。

小 約5.5cmのボンボン

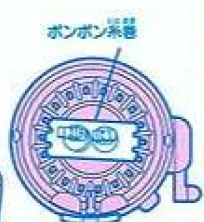


大 約6.5cmのボンボン



1 ボンボン糸巻をセットします

本体のフタをはずし、ダイヤルを輪あみにします。次にボンボン糸巻をシリンダーのツメの間にさしこみ、毛糸ガイドをとりつけます。



※ボンボン糸巻の上下を間違えないようにしてください。

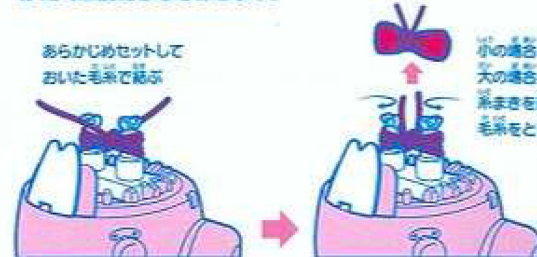
3 毛糸を巻き付けます

ハンドルをくるくるまわして、ボンボン糸巻に毛糸を巻き付けていきます。適量の毛糸を巻き付けるには、ハンドルを50〜100回くらいまわします。



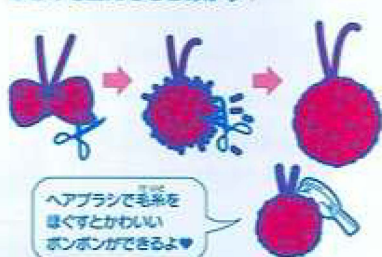
4 毛糸を結びます

②でセットしておいた毛糸で、巻き終わった毛糸のたばの中央を縫く結び、糸まきを回転させてとりはずします。とりはずしてから、かたく二重結びしておきます。



5 形を整えます

はさみで毛糸のたばの両はしを切りひらいて球にしたなら、つくりたい大きさに毛糸をはさみで整えてできあがり！



ミニッコのボンボンマスコットのつくり方

用意する物

☆市販の物——●毛糸（各ミニッコの体と同じ色）●フェルト●ボンド●はさみ

●手と足のつくりかたは9ページを参考にしてください。

●このフェルトパーツ図を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。●はさみで切る際には十分注意してください。

フェルトパーツ

●たびおか
●えびふらいのしっぽ
●ふろしき



●ほこり
●ごうろう



●ふろしきの柄（白）

えびふらいのしっぽ



①黄色の毛糸でボンボンをつくり、②黄色の毛糸で手と足をつくり縫い付けます。③黄色の毛糸をくさりあみしてえびのしっぽ部分を縫い付けます。

ごうろう



①黄色の毛糸でボンボンをつくり、②黄色の毛糸で手と足をつくり縫い付けます。③黄色の毛糸をくさりあみして足をつくり縫い付けます。

ほこり



①黄色の毛糸でボンボンをつくり、②黄色の毛糸で手と足をつくり縫い付けます。③黄色の毛糸をくさりあみして足をつくり縫い付けます。

たびおか



①黄色の毛糸でボンボンをつくり、②黄色の毛糸で手と足をつくり縫い付けます。③黄色の毛糸をくさりあみして足をつくり縫い付けます。

すみっくぐらしのあみぐるみマスコットのつくり方

用意する物

- ☆セット内……●毛糸 ●フェルト ●毛糸針 ●綿
☆その他……●はさみ

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。

段数を数えやすくするために

油性ペンで印をつけます。

かわいい説明は1ページ

油性ペンで印をつけよう

を読んでください。



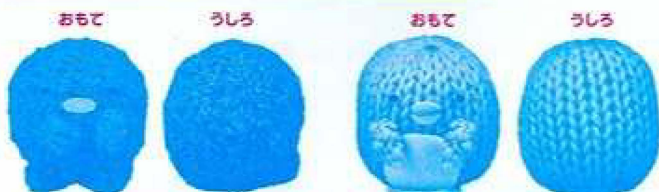
後処理をしやすくするために

編み終わりの毛糸を輪に通しやすくするために、つくり方に書かれている段数は1段多くになっています。各パーツ毎に本体で編み終わったら編み終わりを1段ほどいてから、後処理をしてください。※編み終わったら本体からはずして、1段ほどいてから約20cmのところをはさみで切ってください。※編みはじめは約20cmを本体中央にたらしってください。

※指定がない残り糸は結んで編み地の中に入れるか、縫い込みます。 ※セットした毛糸は段数に書かれていません。

とんかつ・べんぎん?のからだのつくり方

※とんかつ用の茶の毛糸は2本1組のまま使います。



とんかつ (茶の毛糸/輪あみ)

べんぎん? (黄緑の毛糸/輪あみ)

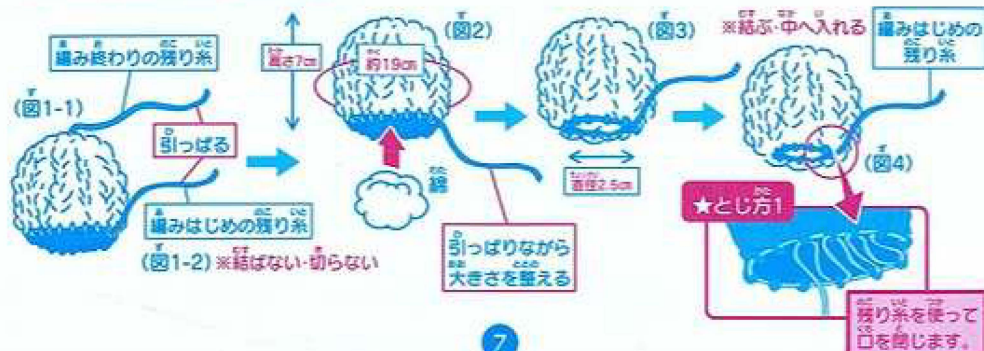
※つくり方は同じです。

① 編みはじめの残り糸も引っぱって、口の大きさが編み地の幅と同じくらいになるようにしぼります。糸は結ばず残します。(図1-2)

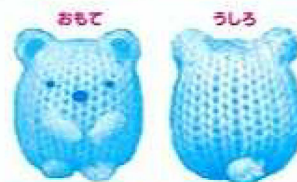
② 編み地に綿を詰め、残り糸を引っぱりながら、からだの形の幅さ約7cm・からだの周り約19cmに整えます。(図2)

③ 綿を詰め口が直径2.5cmになるようにしぼり(図3)、編みはじめの残り糸を使って閉じます。

残り糸は結んで中に入れます。(図4)



しろくまのからだのつくり方



しろくま (白の毛糸/輪あみ)

① ダイヤルを輪あみにして17段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどききます。

② 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方」で、残り糸を輪になっている編み目に1周通します。糸は結ばず残します。

③ 編み終わりの糸を引っぱりながら、四角い編み地になるように整えます。糸は結ばず残します。(図1)

④ たたんだ編み地の口の長さが約5cmになるまで編み終わりの糸を少しづつ引っぱり、目の位置を丸くします。(図2)

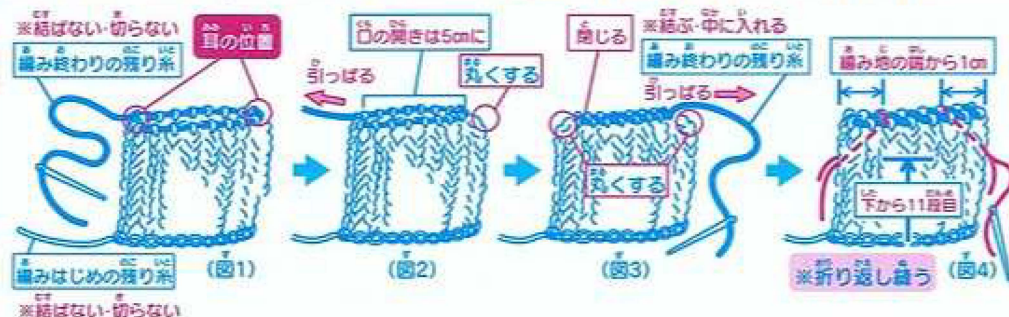
⑤ 編み終わりの残り糸で7ページの「★とし方1」の方法で口を閉じます。残り糸は結ばず、残します。(図3)

⑥ 残り糸を少しづつ引っぱって、④で丸くした角と同じように反対側の角も丸くします。残り糸は結び中へ入れます。

⑦ 耳を作るため、別の糸で編み地の下から11段目から耳の角から1cmまで縫います。そこから、縫いはじめまでもう一度、戻るように折り返し縫います。(図4)

⑧ 縫いはじめ糸と縫い終わりの糸を耳の形に整えながら結び、中へ入れます。

⑨ とんかつ・べんぎん?のからだのつくり方③④⑤と同じ方法で綿を詰め、しろくまのからだを仕上げます。



べんぎん?のくちばし

① 縫い糸にとんかつの茶の毛糸を使います。2本1組になった毛糸の1本だけを使います。(図1)

② 毛糸を1重にし、糸を約5cm残して、頭のてっぺんのしぼり口から入れ、フェルトのくちばしの上を通し頭のしぼり口へ出します。(図2)糸を結んで中へ入れます。



くさりあみのつくり方



手・足・しっぽのつくり方

※毛糸の色はそれぞれの本体の色と同じです。くさりあみでつくります。
※くさりあみのつくり方はP8。

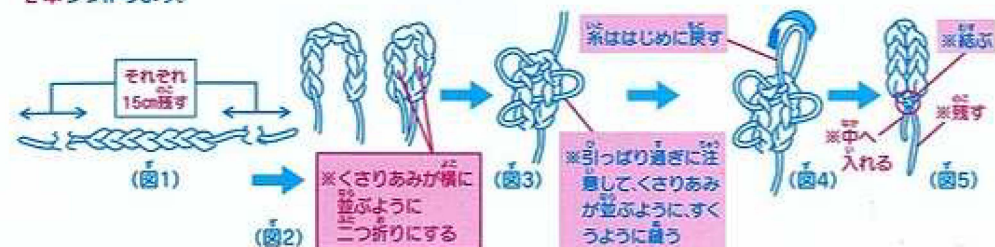
手/しろくま・べんざん?・とんかつ・ねこ・とかげ (各本体の色と同じ毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで7目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図2)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図3) 同じものを2本ずつ作ります。



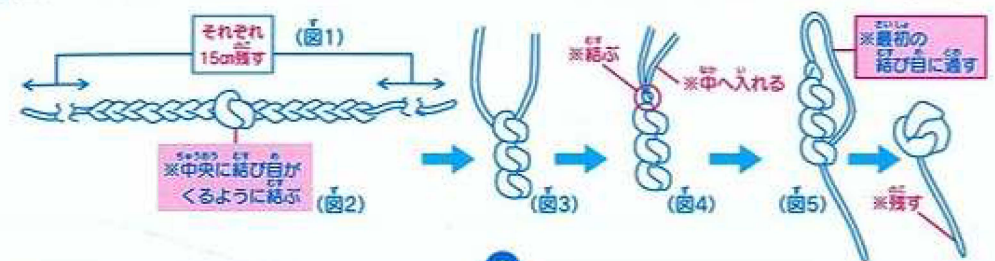
足/しろくま・べんざん?・とんかつ・ねこ・とかげ (各本体の色と同じ毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみが並びように二つ折りにし(図2) 残した毛糸で引っぱり過ぎに注意しながら、となりあった、くさりあみをすくうように、縫い合わせます。(図3) 端まで縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図4)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図5) 同じものを2本ずつ作ります。



しっぽ/しろくま (白の毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで16目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみのひもを(図2)のように結び目が中央にくるように結びます。同じようにあと2回結びます。(図3)
- ③ くさりあみの両端に残した糸を結び1本は、くさりあみの中へ入れます。(図4)
- ④ 残りのもう1本は最初の結び目に通し引っぱり、しろくまのしっぽをつくります。糸は切らずに残します。(図5)。

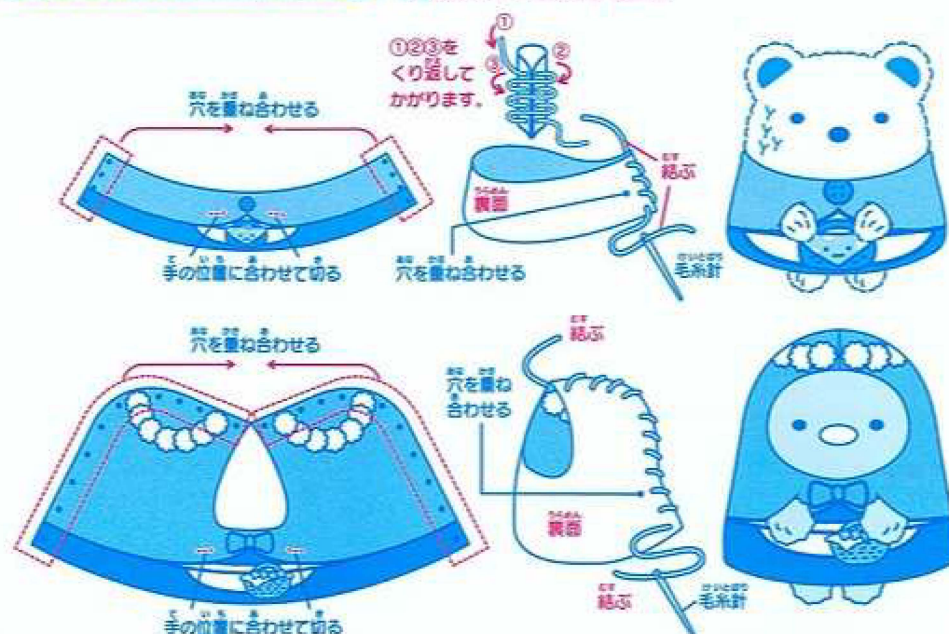


フェルトパーツをつけます

- ① それぞれ手・足・しっぽは、本体に縫い付けます。縫い付けには各本体と同じ色の残りの毛糸を使いましょう。
- ② フェルトパーツをP14を参考に本体に貼り付けます。

なりきりおきがえ衣装のつけ方

なりきりおきがえ衣装を下の図のように縫います。
糸は残りの毛糸を使いましょう。



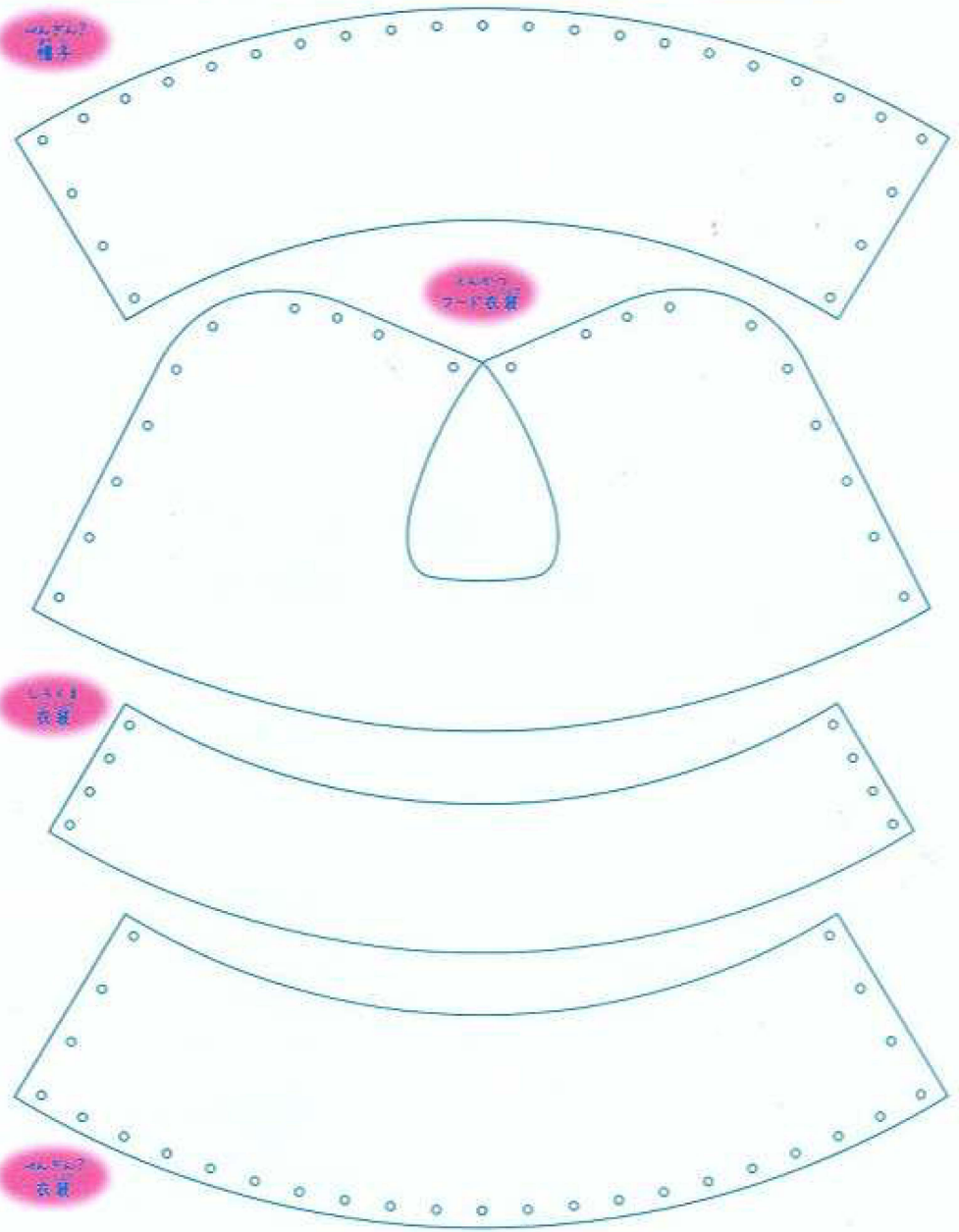
- ① 衣装の左右の穴を中表に重ね合わせて、毛糸針でかがり縫いをします。最初と最後の毛糸をそれぞれ玉どめします。縫い終わった衣装は表にひっくり返します。
- ② 衣装を被せて、手の位置に合わせて1cmほど切れ込みを入れます。切れ込みから手を出したら完成!



- ① 帽子の上、衣装の下の穴を縫い合わせます。
- ② しろくまと同様に帽子と衣装の端をかがり縫います。
- ③ 帽子と衣装の残った毛糸を引っばってしぼります。ほどよくしぼれたら結んで玉どめしましょう。

なりきりおきがえ衣装の型紙

この図面を別の紙に写しとったものを型紙として141%拡大して使用してください。
はさみで切る際には十分注意してください。切った布に好きなお洋服の絵を描いて着せてあげてね!



穴は目安です。毛糸針では穴を開けられません。

ねこ・とかげのつくり方

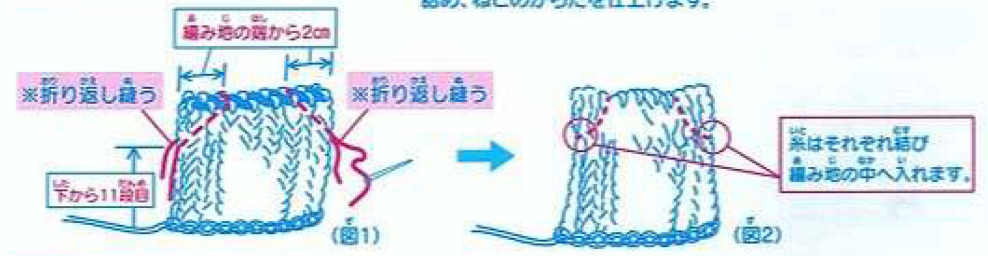
※ねこ・とかげを作るときは、市販の材料を使ってください。

ねこのからだのつくり方



- ① しろくまのからだのつくり方 P8 の、①～③までと同じ方法でつくります。
- ② 編み終わりの残り糸を使って7ページの「★とじ方1」の方法で口を開じます。
- ③ とじ終わったら、目になる両方の角を引っ張り、ねこの目の先が、とがるように整えます。(図1) 残り糸は結んで中に入れます。
- ④ しろくまのからだのつくり方②⑧の方法でねこの耳を仕上げます。(図2)
- ⑤ とんかつ・ペンギン? のからだのつくり方③④⑤と同じ方法で綿を詰め、ねこのからだを仕上げます。

ねこ (クリーム色の毛糸/輪あみ)



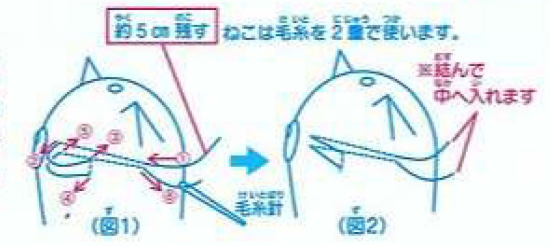
しっぽ/ねこ (クリーム色の毛糸/くさりあみ)

- ① 毛糸の端から15cmを残し、くさりあみで9目編みます。編み終わったら毛糸を15cm残して切ります。(図1)
- ② くさりあみを二つ折りにして、残した毛糸で縫い合わせます。縫い終わったら、糸をくさりあみの中へ通して、縫いはじめに戻します。(図2)
- ③ ②で戻した糸ともう一方の糸を結び、短い方をくさりあみの中へ入れます。長い方は残します。(図3)



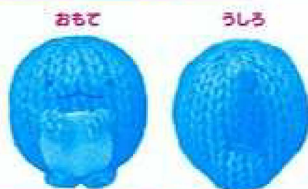
ねこのひげ

- ③ ねこのひげは、写真を参考にしながら、糸を約5cm残して目の下、2目のところから①～⑧の順に糸を通して2本のひげにします。(図1) もう片方のひげも同じように縫います。糸は結んで中に入れます。(図2)



- 手・足のつくりかたは P9を参考に作って本体につけましょう。
- フェルトは写真を参考に、P14の型紙から作成して貼りつけましょう。

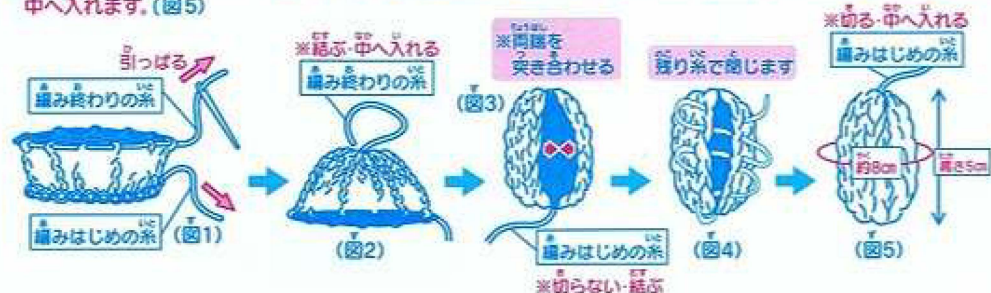
とかげのからだのつくり方



- ① ダイヤルを輪あみにして17段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどききます。
- ② とんかつ・ぺんぎん? のからだのつくり方P7の、②③④と同じ方法でつくります。
- ③ 終を結めた口を直径4cmになるようにしぼり、糸は結び残します。
- ④ とかげのしっぽの詰め物をダイヤルを輪あみにして10段編みます。編み地を本体からはずし、1段ほどききます。

とかげ・しっぽの詰め物 (水色の毛糸/輪あみ)

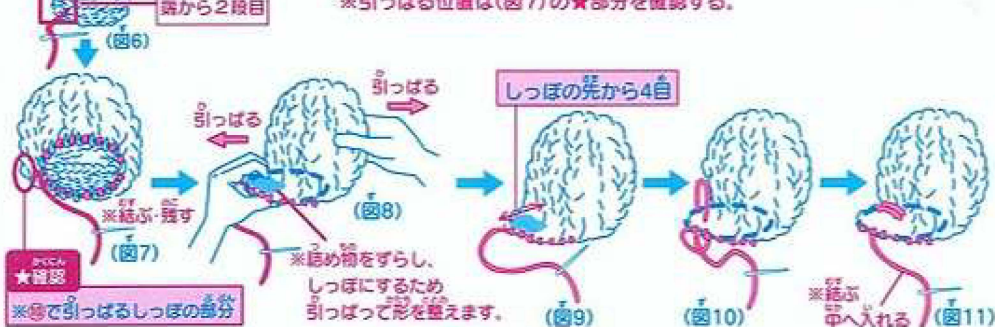
- ⑤ 3ページの「輪あみの編み終わりのしまつの仕方(しぼる場合①②③④⑤)」でしまつします。(図1)
- ⑥ 編みはじめの残り糸も引っぱってしぼります。糸は結び残します。(図2)
- ⑦ 編み地の両端を突き合わせ(図3)残り糸で縫い合わせます。(図4)長さ5cm・編み地周り8cmに整え、糸は結んで中へ入れます。(図5)



しっぽの詰め物を入れる

- ⑧ ⑦でつくったしっぽの詰め物の合わせ目のない面の端から2段目(図6)に本体の残り糸(図では、わかりやすく赤で表示しています。)を通します。
- ⑨ 糸を通した面を外側にして、底(おしり)が平らになるように、本体の口へ入れ、しっぽの詰め物と口を縫います。糸は結び、残します。(図7)
- ⑩ ⑨で縫い付けた、しっぽの詰め物を本体の中ですらししっぽになるように、しっかり引っぱります。(図8)

※引っぱる位置は(図7)の★部分を確認する。



- ⑪ 引っぱったしっぽの先から約4目のところを残り糸で(図9～11)のように2回縫ってしっぽを固定します。残り糸は結んで本体の中に入れます。

- 手・足のつくりかたは P9を参考に作って本体につけましょう。
- フェルトは写真を参考に、P14の型紙から作成して貼りつけましょう。

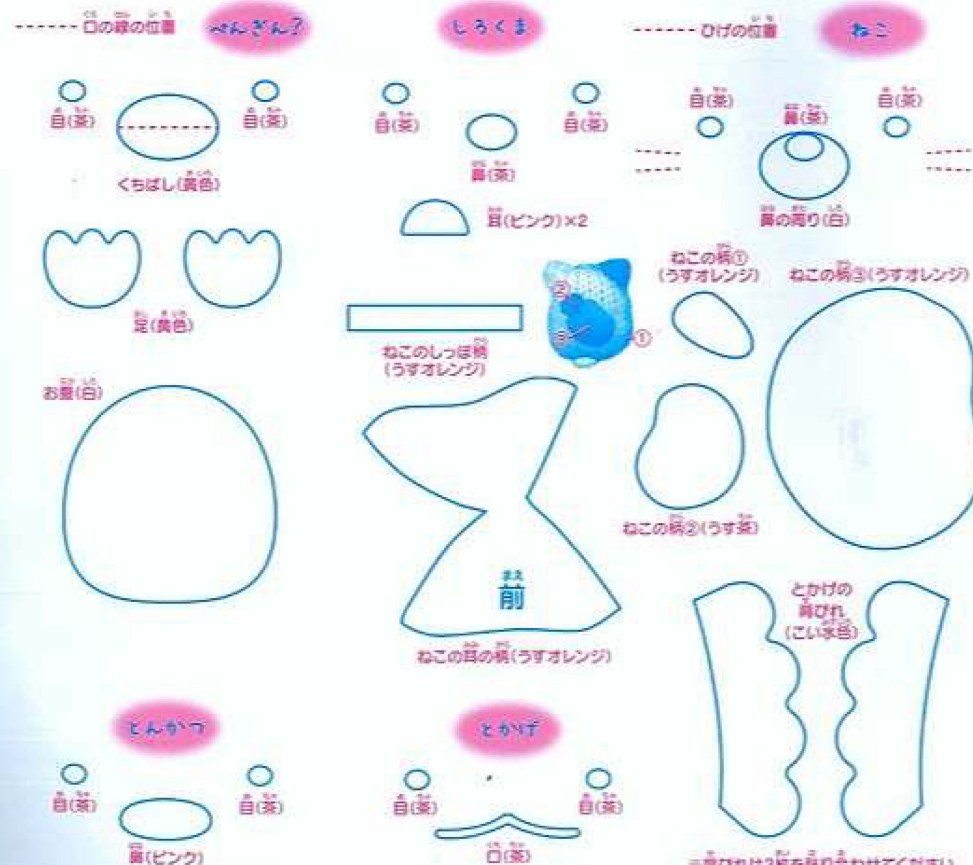
フェルトパーツ

すみっコあみぐるみマスコットで使えるフェルトパーツの型紙です。
この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。はさみで切る際には十分注意してください。

セット内容のフェルトパーツ配置の仕方



上の各キャラの顔を参考にフェルトパーツを貼り付けてください。



※前ひれは2枚を貼り合わせてください。

ねこ・とかげは、セット内容には含まれておりません。